

美川村十年誌



美

川

村

十

年

誌

揮毫 美川村長

天野

登書



美川村庁舎





美川村中心部



御三戸嶽



美川村唯一の淡水プール

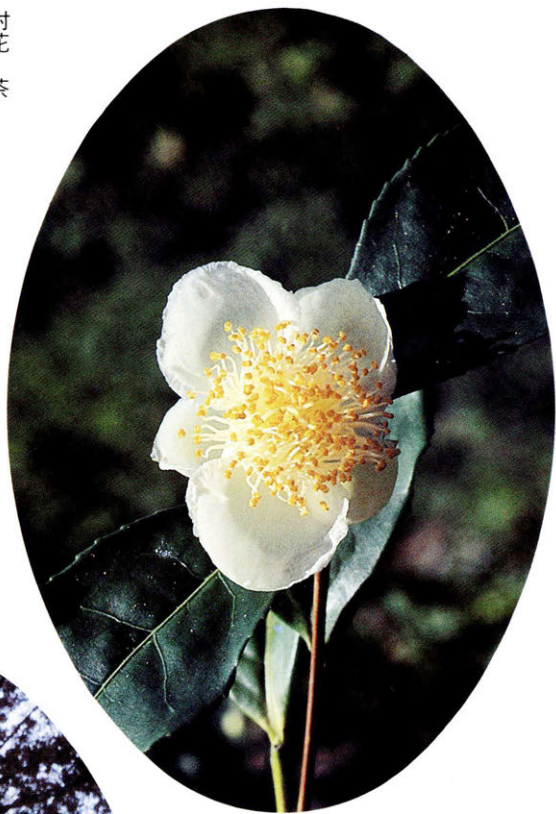


賑わう美川スキー場

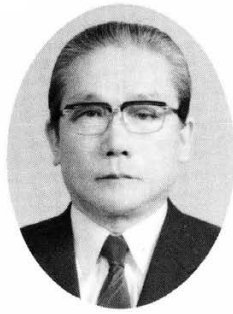


公営住宅団地

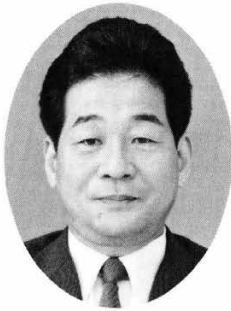
村花
茶



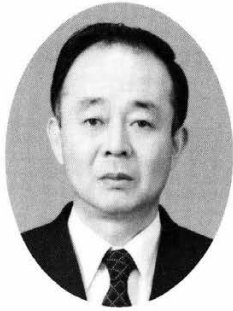
村木
杉



村 長
天 野 登



教 育 長
新 谷 養一郎



収 入 役
大 野 和 男



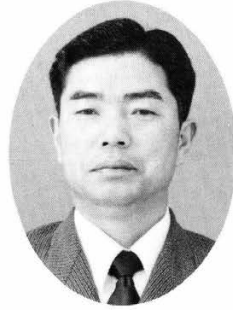
助 役
小 田 原 英 雄



三役・教育長及各課長



15代副議長
藤坂友一



15代議長
木下久敬



美川村議会議員



執務風景



役場職員



第14代議長

片岡 健二



第13代議長

天野 輝雄



第12代議長

川崎 清隆



第11代議長

高木 秀雄



第10代議長

高木 松太郎



第13代副議長

田中 一男



第12代副議長

木山 徳重



第11代副議長

團上 幸吉



議会風景

刊行のことば

昭和三〇年三月、二ヶ村半の合併によって発足した美川村は、昭和六〇年三月末をもって三〇年を迎え、この記念すべき事業の一環として、合併後二〇年以降三〇年に至る一〇年間の歩み「美川村十年誌」を刊行することになりました。

顧みますと、合併当初の、新村繁栄への願いは、国運の進展により、建村事業を着実に可能として今日の繁栄を築きましたことは、ご同慶に堪えません。

しかしながら、我が国経済が安定成長期に移行した後のこの一〇年間の歩みは、かつての高度経済の後遺症に悩める時代として、困難と試練の、まさに苦難の道程であり、地域振興の推進が思いのままにならない状況でありましたが、村民の皆さんが、豊かで、調和のとれた村づくりの精神に基づき、叡智を結集した実践的行動力と、行政に対する深いご理解が推進力となり、農林業を中心とする本村の産業振興及び生活環境整備等、諸般の振興施策を展開し、産業経済、教育文化、福祉の向上が、緩やかながら成果としてここに証明されました。

決して十分と言えないにいたしましたが、この一〇年間の成果を皆さんと共に喜ぶべき時に遭遇した私は、この上ない喜びとして、今後更に、村民の皆さんと相携え、人心育和を基調に本村の限らない発展を念じ、二一世紀に向けての、誤りない施策を展開して参る所存であります。

本誌は、この一〇年間における行政業務を中心に、二十年誌の類型を踏襲して編集いたしました。編集には、役

場の課長を中心に各団体職員の皆さんが、本務の余暇をさいて担当して頂きました。時間不足などの理由もあって、内容的に、断片的で一貫性を欠き、また整合性においても誤りなどがあるかと思いますが、ご寛恕頂きます。二十年誌同様、本誌が過去の反省となり、また新しい創造への資料ともなれば幸いに存じます。

最後になりましたが、編集を担当されました職員の方々に、厚くお礼申し上げます、なお村民の皆様方のご健康とご多幸を祈念いたしまして刊行のことばといたします。

昭和六〇年一二月

美川村長 天野 登

目次

刊行のことは

第一編 行 政 財 政

第一章 行 政	3
第一節 三 役	3
第二節 各種委員会	5
第三節 議決機関	9
第四節 行政事務機構	10
第五節 防災対策	11
第六節 町村計画	13
第七節 治安と消防	14
一 警察官駐在所の沿革	14
二 防犯対策	14
三 交通安全対策	17

四消防	18
第八節 庁舎・農業改善センター	21
第二章 財政	23
第一節 財政の概況	23
第二節 村有林	29
第三節 住宅	35
第二編 産業経済	
第一章 産業の動向	41
第一節 最近の移り変わり	41
第二節 農林業の概況	42
一 土地利用の状況	42
二 就業人口の動態	44
第二章 農業	46
第一節 作目別動向	46
一 米	46

二	葉たばこ	48
三	養蚕	50
四	茶	51
五	野菜	53
六	四国カルスト大川嶺牧場	54
七	その他	59
第二節	農業振興事業	61
一	地域農業集団育成事業	61
二	特産銘柄産地育成事業	62
第三節	農業委員会	62
一	農用地利用増進法	62
二	農用地高度利用促進事業	64
第四節	農業生産条件整備事業	64
一	土地改良事業	64
二	農村総合整備モデル事業	65
三	山村振興農村漁業特別開発事業	66

四	耕地すべり対策事業	66
五	農地・農業用施設災害復旧事業	67
六	干害応急対策事業	67
七	農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業	67
八	県営仕出過疎農道整備事業	68
九	土地改良区	68
第三章	林業	89
第一節	林業の概要	89
一	山林所有の概況	89
第二節	森林組合	91
一	組合の歩み	91
二	美川村森林組合現況	94
第三節	組合の事業	94
一	造林	94
二	木材	95
三	しいたけ・木炭	96

四	保育事業	98
五	間伐	98
六	金融	100
第四節	村と共同の事業	101
一	林道	101
二	治山治水事業	103
三	林地地すべり対策事業	107
第五節	林業振興事業	109
一	林業振興地域整備計画	109
二	林業構造改善関連整備緊急対策事業	110
三	新林業構造改善促進対策実験事業	112
四	間伐促進総合対策事業	112
五	村単独事業	114
第四章	その他の産業	117
第一節	畜産業	117
第二節	水産業	118

第五章 商工業 121

第一節 五〇年代の商工業 121

第二節 商工会の歩み 123

第三節 観光 129

一 美川スキー場 129

二 御三戸遊園地 133

三 白銀荘 135

第三編 土木・交通・国土調査

第一章 土木 139

第一節 道路・橋梁 139

一 国道 139

二 県道 140

三 村道 141

四 橋梁 144

第二章 林業土木	151
一 林道	151
第三節 国土保全	155
第二章 国土調査	156
第一節 地籍調査	156
一 完了近し	156
二 地籍調査の実施状況	156
三 調査の結果	157
四 お世話になったかたがた	160
五 調査費用はどのくらい	160
六 すっきりした地籍	172
七 調査に従事した職員たち	176
八 今後の課題	177
第四編 教育・文化	
第一章 教育委員会	183

第一節	教育委員会	183
第二章	学校教育	185
第一節	中学校統合	185
第二節	各学校の沿革	188
一	仕七川小学校	188
二	東川小学校	192
三	黒藤川小学校	195
四	二籠小学校	198
五	美川西小学校	202
六	美川南小学校	205
七	仕七川中学校	208
八	黒藤川中学校	211
九	美川中央中学校	214
第三章	社会教育	224
第一節	公民館活動	224
一	生活改善運動	227

二	夏季大学	228
三	高齢者大学	229
四	同和教育	230
第二節	幼児教育	230
一	仕七川保育園	233
二	東川保育園	233
三	美川西幼稚園	234
四	美川南保育園	235
五	黒藤川保育園	236
六	二籠保育園	237
第三節	青年教育	238
第四節	婦人教育	239
一	生活学校	240
二	ふれあい結婚式	241
第五節	P T A	241
第六節	社会体育	243

一	夜間照明施設	243
二	県民体育祭への出場	244
三	各種スポーツ大会の開催	244
四	少年スキークラブの結成	247
五	菅甲子良が文部大臣感謝状を受賞	247
	第四章 文 化	248
一	第一節 文化財	248
二	第二節 旧山中家住宅	250
三	第三節 文化活動	252
	第五編 福祉・厚生・保健衛生	
	第一章 福祉・厚生	257
一	第一節 国民年金	257
一	一 拠出制	257
二	二 無拠出制国民年金制度	258
二	第二節 社会福祉事業	261

一	民生・児童委員制度	261
二	生活保護	261
三	児童福祉	263
四	母子福祉	264
五	老人福祉	265
六	身体障害者福祉	268
七	美川村傷痍軍人会	268
八	戦争犠牲者の援護	268
九	社会福祉協議会	270
第二章	保健・衛生	272
第一節	保健医療施設	272
一	美川村診療所	272
二	歯科診療所	272
三	民間医療施設	274
第二節	国民健康保険	274
一	国民健康保険事業	274

二	退職者医療制度	275
三	健康保険法の改正	278
第三節	疾病と伝染病	279
一	疾 病	279
二	検診と検査	279
第四節	環境衛生	281
一	簡易水道	281
二	し尿・ごみ処理事業	281
三	火 葬 場	284
四	畜犬登録	285
第五節	母子保健	285
	歴代村長・助役・収入役・村議会議長・副議長・議員・役場職員	287
	美川村史年表	295
	編集員名簿	298
	あとがき	